

要請番号 (JL56022B04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ベナン	A101 コミュニティ開発	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・2023/3・2023/4・2024/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

農業・畜産・漁業省

2) 配属機関名（日本語）

ボバ村落開発支所

3) 任地（モノ県ボパ市） JICA事務所の所在地（コトヌー）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（車で約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

同省下に、それぞれの地域の特長を生かした7つの農業開発区が設置されている。そのうち、ベナン南西部のモノ県及び他3県を管轄する第7農業開発区の下、本配属先は市レベル毎に設置された政策実施機関のひとつである(ボパ市の人口は推定約10.5万人、湖に面する平野部にある地方の小規模の街)。業務としては、管轄地域の農民を対象に農業技術の普及・指導を担い、活動実施計画の策定から各計画の実施、その評価モニタリングを行っている。任地ではトウモロコシ、パーム油、米、野菜栽培、養殖などが盛んである。過去に同配属先への隊員の配置はないが、同任地には保健及び教育分野の隊員派遣実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国の総人口の約5割を占める貧困層は主に村落部住民で第一次産業に従事しており、各農家の収益向上が生活改善に向けた課題である。政府は政府行動計画(PAG:2021-2026)の中で農業、畜産、水産の開発を重点分野に定めており、全国の支所に農業普及員を配置し取り組んでいるが、予算及び人員不足、農家の運営能力が課題であり、いまだ期待されている成果はあげられていない。配属先は、生産性や競争力の向上を目的とした農業技術指導を提供しているが、収益向上及び安定のための農業経営指導が不十分である。また、同市においては協同組合や農家グループなど、農業組織の停滞も課題となっている。これらの課題解決のため、初代隊員の要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

配属先同僚と連携し、以下の活動を行う。

- 任地の個々の農家や農家グループの営農にかかる現状、具体的なニーズや課題を調査し「見える化」する。
- 調査結果をもとに課題を共有し、配属先や農家など関係者と共に改善策を考えて実践を支援する。
- 管轄地域内の農業組織(協同組合や農家グループなど)の活動活性化を支援する。
- 必要に応じて、収益向上・安定を目指してSHEP(市場志向型農業振興)アプローチの導入を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

支所内執務席

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- 支所長(男性、30代)
- 専門農業普及員3名、農業アドバイザー3名

活動対象者:
個人農家、農家グループ

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[汎用経験]：

- ・フィールドワーク（現地調査、研究）経験
- ・営業や販促、商品開発の経験

[参考情報]：

- ・市場調査や営業等の経験があると良い
- ・農業経験または農業に強い関心があると良い

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位） [電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

【特記事項】

安全対策上、隊員はバイクタクシー利用不可。電気・水道は不安定であり、不定期の停電・断水あり。赴任後、現地語学研修を行う。SHEPに関して、赴任前にJICA-NET Libraryを活用した自己学習を推奨。